

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【公開番号】特開2011-175097(P2011-175097A)

【公開日】平成23年9月8日 (2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2010-39109(P2010-39109)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/08 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/08

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 5/225 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月20日 (2012.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記課題を解決するために本発明の一態様の防水機器は、当該防水機器の本体側に設けられた凹部と、上記凹部に対して開閉する蓋部材と、上記蓋部材に設けられ、上記蓋部材が上記凹部に対して閉じられたとき、上記凹部口元を囲むように上記凹部に向かって迫り上がった斜面となる当接面と、上記凹部の口元周囲に設けられた防水シール部材であって、上記蓋部材の当接面方向に延びた上記凹部周りを囲う壁を有した枠状に形成され、上記蓋部材が閉方向に移行し、当該防水シール部材が上記当接面に当接したとき、上記本体側の上記蓋部材と対向する面および上記壁の壁面に対して直交する断面において、上記壁の自由端先端が上記当接面と当接して上記凹部の上記口元の外方に向かって変位する防水シール部材とを具備している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

防水機器において、

上記防水機器の本体側に設けられた凹部と、

上記凹部に対して開閉する蓋部材と、

上記蓋部材に設けられ、上記蓋部材が上記凹部に対して閉じられたとき、上記凹部口元

を囲むように上記凹部に向かって迫り上がった斜面となる当接面と、

上記凹部の口元周囲に設けられた防水シール部材であって、上記蓋部材の当接面方向に延びた上記凹部周りを囲う壁を有した枠状に形成され、上記蓋部材が閉方向に移行し、当該防水シール部材が上記当接面に当接したとき、上記本体側の上記蓋部材と対向する面および上記壁の壁面に対して直交する断面において、上記壁の自由端先端が上記当接面と当接して上記凹部の上記口元の外方に向かって変位する防水シール部材と、

を具備したことを特徴とする防水機器。

【請求項 2】

上記部材シール部材は、矩形状の枠形状に形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の防水機器

【請求項 3】

上記蓋部材は、当該防水機器の本体側に対して回転軸により回転して上記凹部を開閉することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の防水機器。